

江南市の姿勢が問われます

改憲論の急先鋒＝櫻井よしこ氏を講師に 市制60周年記念文化講演会

江南市は、3月14日（土）に市制60周年記念・市民文化会館開館30周年記念事業として、市民文化会館との共催で文化講演会を開催し、講師にジャーナリストの櫻井よしこ氏を呼ぶと発表しました。

場所は市民文化会館大ホール、講演テーマは「日本よ、のびやかなれ」です。

本当に、櫻井よしこ氏でよいのでしょうか。

日本共産党江南市議員団は、昨年11月に市長、教育長に対し中止するよう申し入れを行ったほか、12月議会一般質問でも取り上げ追及しました。

櫻井よしこ氏は改憲を目指す 「美しい日本の憲法をつくる国民の会」の共同代表

安倍首相は、昨年7月に集団的自衛権の行使容認を閣議決定し、通常国会に行使を可能にする一括関連法案を提出する方針です。同時に、国会の衆参それぞれ3分の2の議員発議で国民投票を実施し、過半数の賛成で明文改憲を目指すとの踏み込んだ発言をしています。

この動きと一体に、昨年10月、改憲めざす新たな全国組織「美しい日本の憲法をつくる国民の会」が結成され、2016年7月の参院選と同時に国民投票を実施し、憲法9条を含む「憲法改正」めざすとして運動を強めています。



櫻井よしこ氏は、この「美しい日本の憲法をつくる国民の会」

の共同代表の一人。著書や雑誌、テレビ、ブログ等を通して、憲法9条攻撃を全面展開している極右翼として名高いジャーナリストです。

中国や韓国との対立をいたずらに煽りたて、日本政府の公式談話である河野談話も「たとえ幾年かかっても河野談話を潰さなければならない。」とも主張しています。

国際平和都市宣言にも反する

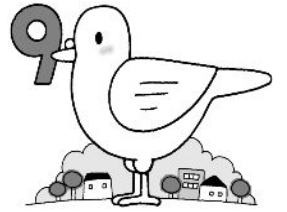
江南市は29年前に「国際平和都市」を宣言しました。

宣言文は、『江南市は、一日も早く核兵器を撤廃し、国際平和を実現するため平和行政を推進し、国際交流を活発にして相互の理解を深めることを目的とした「国際平和都市」を宣言します』と謳っています。

櫻井よしこ氏の主張と都市宣言は相容れないものです。市主催講演会の講師として呼ぶことは、「国際平和都市宣言」を投げ捨てたも同然ということになるのではないのでしょうか。

市教育委員会は「櫻井さんには、政治的な話はしないようお願いしています」と言っていますが、演題の「日本よ、のびやかなれ」は、まさに櫻井氏の「美しい日本…」につながるものです。

全国的な改憲運動の先頭に立って精力的に活動を展開している人物を、今このタイミングで講師として呼ぶこと自体、江南市の平和行政への姿勢が厳しく問われるのではないのでしょうか。



市政アンケートに基づく 要望書を提出しました

詳しくは（党議員団ホームページをご覧ください）



昨年10月から12月にかけて、市内の各家庭に市政アンケートを配布し、660人を超える方から回答があり、多くのご意見やご要望をお寄せいただきました。

その中から要望の多かった内容について、要望書にまとめ、1月20日（火）に石川副市長に会い提出しました。

新年に配布した「あすの江南」363号に、主なものは紹介していますが、「年金が下がって生活が苦しい」との声が強く寄せられており、介護保険料や後期高齢者医療の保険料の引き下げが最も多い要望となっています。

また若い世代からは、子どもの医療費無料化、公園がない、図書館の新設などが多くなっています。

党議員団は、12月議会でもアンケートに込められた要望に添って質問を行いました。引き続きみなさんとともに要望実現のために努力していきます。

あなたの意見を市政に生かすとき パブリックコメントに応募しましょう

江南市では、今たくさんの方の計画について、市民のみなさんから意見を募る「パブリックコメント」を実施しています。

みなさん是非関心を持ち、市民の率直な意見を市に出していきましょう。

詳しいことは、市広報1月号または市のホームページをご覧ください。

意見募集の項目 意見の締め切りは2月初旬

1. 第6期介護保険計画・高齢者福祉計画案 2月9日まで（介護保険料や施設計画などが盛り込まれています）
2. 子ども・子育て支援事業計画案 2月3日まで（子ども・子育て支援新制度に基づく5年間の計画）
3. ごみ処理基本計画案（改訂版）2月6日まで。（ごみ減量目標などを決めていきます）
4. 子ども読書活動推進計画案 2月9日まで



あすの江南 N0364 2015・1・22
日本共産党江南市委員会 Tel.55-9890



日本共産党江南市議員団への相談・要望は…
森 Tel.57-2753 東 Tel.54-7977 かけの Tel.53-7727ま

